

■ 掲示板

□ 国内外の関連会議情報

開催期間	行 事 名	開催場所	関連ウェブページ
2012 年 11/5-8	TESLA Technology Collaboration (TTC) Meeting	Thomas Jefferson National Accelerator Facility Newport News, VA	http://www.jlab.org/conferences/ttc2012/index.html
11/6-10	NBI2012 – 8th International Workshop on Neutrino Beams and Instrumentation	Geneva, Switzerland	http://cern.ch/NBI2012
11/8-30	International Workshop on Understanding the TeV Scale Through LHC Data, Dark Matter, and Other Experiments	Florence, Italy	http://ggi-www.fi.infn.it/index.php?p=events.inc&id=85/
11/14-16	第 53 回真空に関する連合講演会	甲南大学ポートアイランドキャンパス (兵庫県神戸市)	http://www.vacuum-jp.org/CONFV/asvsj2012/index.html
11/22	International Workshop: LHC on the March	Protvino, Moscow region, Russia	http://indico.cern.ch/conferenceDisplay.py?confId=202467
11/27-12/8	Seventh International Accelerator School for Linear Colliders	Indore, India	http://www.linearcollider.org/GDE/school/2012--Indore
11/29-30	ビーム物理研究会 2012・ビーム物理若手の会 2012	広島大学 東広島キャンパス	
12/2-7	EMIS2012 – 16th International Conference on Electromagnetic Isotope Separators and Techniques Related to their Applications	松江市	http://ribf.riken.go.jp/emis2012/
12/3	第 2 回文部科学省「量子ビーム基盤技術開発プログラム」シンポジウム	東京 秋葉原 UDX ギャラリー NEXT 4 階 (NEXT-1, NEXT-3)	http://www.quantumbeam.net/news/20121203.html
12/4-7	PCaPAC-2012 – International Workshop on Personal Computers and Particle Accelerator Controls PCaPAC-2012	Kolkata, India	http://indico.vecc.gov.in/indico/internalPage.py?pageId=4&confId=13
12/10-11	日本中性子科学会 (JSNS2012)	京都大学百周年時計台記念館	http://jsns2012.jp/
12/17-19	ISOLDE Workshop and Users Meeting	Geneva, Switzerland	http://isolde.web.cern.ch/isolde/
2013 年 1/6-8	第 5 回「Muon 科学と加速器研究」研究会	高エネルギー加速器研究機構 (つくば)	http://kds.kek.jp/conferenceDisplay.py?confId=10754

開催期間	行 事 名	開催場所	関連ウェブページ
1/14-25	USPAS – US Particle Accelerator School sponsored by Duke University	Durham, United States	http://uspas.fnal.gov/
2/25-26	4th Asian Forum for Accelerators and Detectors "AFAD – 2013"	BINP, Novosibirsk, Russia	http://ssrc.inp.nsk.su/conf/AFAD2013/
4/24-5/4	CAS – CERN Accelerator School: Course on Superconductivity for Accelerators	Erice, Italy	http://cas.web.cern.ch/cas/
5/13-17	IPAC13 – 2013 International Particle Accelerator Conference	Shanghai, China	http://www.aps.org/meetings/meeting.cfm?name=IPAC13
6/24-29	Lepton-Photon 2013	SLAC	
7/14-18	2013 IEEE 23rd Magnet Technology Conference (MT – 23)	TBD Boston, MA, USA	http://www.ieee.org/conferences_events/conferences/conferencedetails/index.html?Conf_ID=18259
8/10-15	Applied Superconductivity Conference (ASC 2012)	Portland, Oregon, USA	http://www.ascinc.org/
8/26-29	FEL 2013		
9/15-19	11 th EUCAS	Geneva, Switzerland	http://www.eucas2013.org/about-eucas
9/16-19	IBIC 2013	Diamond Light Source, UK	http://ibic2013.org/
9/22-28	SRF 2013	Paris, France	
9/29-10/4	PAC13 – 2013 Particle Accelerator Conference	Pasadena, CA, United States	http://www.aps.org/meetings/meeting.cfm?name=PAC13
2014 年 6/15-20	IPAC14 – 2013 International Particle Accelerator Conference	Dresden, Germany	http://www.ipac2014.org/
8/10-15	ASC2012	Charlotte, NC, USA	http://www.ascinc.org/
9/1-5	LINAC14	Geneva, Switzerland	
2015 年 5/4-5/8	IPAC15 – 2015 International Particle Accelerator Conference	Richmond, VA, United States	http://www.ipac2015.org

■第2回 文部科学省「量子ビーム基盤技術開発プログラム」シンポジウム

文部科学省では、「量子ビーム」の将来性に着目し、「先端技術」のキーテクノロジーの一つと位置づけ、平成20年度より、「文部科学省量子ビーム基盤技術開発プ

ログラム」を実施しています。このプログラムは、ネットワーク型の研究拠点を構築して、量子科学技術分野のシーズと産業界等のニーズとの融合を図り、新たな知見を創出することで、国際競争力を強化することを目的としています。初回（平成22年開催）のシンポジウムに続き、プログラムの参加機関が一堂に会し、研

究概要及び研究成果の公開を目的として開催されます。
会議名：第二回 文部科学省「量子ビーム基盤技術開発プログラム」シンポジウム

期間：平成24年12月3日（月）10時～18時

場所：東京 秋葉原 UDX ギャラリー NEXT 4階
(NEXT-1, NEXT-3)

主催：文部科学省及び高エネルギー加速器研究機構

関連ウェブページ：<http://www.quantumbeam.net/news/20121203.html>

申込・問合せ先：大学共同利用機関法人 高エネルギー加速器研究機構

「量子ビーム基盤技術開発プログラム」シンポジウム事務局 池田

quantumbeam@ml.post.kek.jp

※事前の申し込みをお願い致します

(TEL：029-879-6251 茨城県つくば市大穂1番地1)

す。これらの新しい muon ビーム設備を活用する muon 実験が広い分野から提案されており、muon 科学が新しい段階へと飛躍しようとしています。本研究会では、muon ビーム開発グループとユーザーが一堂に会し、従来にはない性質の muon ビームの利用やそれに必要な新しい技術などについて情報交換し、今後の muon 科学の発展を議論します。国内外での muon 施設・実験に関する最新情報に関する講演も歓迎です。皆様のご参加をお待ちしております。

参加申込・連絡先：

三宅康博 (KEK)

メール：yasuhiro.miyake@kek.jp

Fax：029-284-4624

申込締切：2012年11月16日（金）

参加申込み：2012年11月30日（金）

■第5回「Muon 科学と加速器研究」研究会

「Muon 科学と加速器研究」研究会は、muon ビームラインや関連した加速器技術などのハードウェアのみならず、muon 学際科学について自由に議論することができるユニークな交流の場として毎年開催されて参りました。

ご承知のように、前回の第4回研究会から RCNP・KEK/J-PARC・理研 RAL の共催の形式をとっておりますが、第5回に当たる今年度は、KEK/J-PARC で開催致しますので、是非ご参加頂きますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

日時：2013年1月6日（日）～8日（火）

場所：高エネルギー加速器研究機構（つくば）

ウェブページ：<http://kds.kek.jp/conferenceDisplay.py?confId=10754>

概要：

本研究会は、muon を利用した科学や応用利用、また関連した技術開発について広く議論する研究会です。近年、muon 分野には著しい進歩があり注目を集めています。RCNP では世界最高強度の DC-muon 源 MuSIC の建設が進められています。J-PARC においては、物質生命科学実験施設で稼働中の pulse-muon ライン (D-ライン) に加えて、新たに超低速パルス muon ライン (U-ライン) が建設され、さらに、muon 物性専用ライン (S-ライン)、muon 基礎物理用ラインの上流部分 (H-ライン) も建設されつつあります。また、J-PARC ハドロンホールでは μ -e 転換事象探索に向けた muon ビームライン建設の計画が進んでいま

□人事公募

■北海道大学 大学院工学研究院 教授公募（応用量子ビーム工学）

北海道大学大学院工学研究院では、量子理工学部門 応用量子ビーム工学分野の教員の公募を下記の要領で行うことになりました。つきましては、貴所属関係者に周知いただくと共に、適任者の推薦方ご依頼申し上げます。

募集人員：教授 2名

所属：量子理工学部門 応用量子ビーム工学分野

専門分野：中性子、陽子線、放射光 (X 線) などの量子ビーム工学応用に関する以下の研究分野において当該分野を世界的レベルで牽引できる方

A：物質解析・産業応用分野

B：医療・環境・化学応用分野

担当科目：学部では機械知能工学科・全学教育科目、大学院では量子理工学専攻の講義（日本語および英語）を担当。その他関連する演習および実験の指導を分担。

応募資格：着任時に博士の学位または Ph.D. を有する方

採用予定：平成25年4月1日以降のできるだけ早い時期

提出書類：(1)～(3)については所定の書式を使用。

下記 URL からダウンロードできます。印刷物と共に、提出書類の電子データを格納した CD、DVD または USB メモリーも提出してください。

(1) 履歴書（写真貼付、生年月日、国籍（日本の場合、記入不要）、現住所、連絡先と電話番号、電子メールアドレス、学歴（大学卒業以降）、学位、資格、

職歴を記入)

(2) 研究業績目録:

A 論文等に係る業績: 学術誌に発表した査読付論文, 著書, 国際会議プロシーディングス, 解説・総説, 作品, 招待講演, その他(特許・発明・考案等)に分類し, 全著者名を掲載順に記載(各論文のインパクトファクター, 応募時点での引用数を記入して下さい.)

B 競争的外部資金獲得の実績: 科学研究費補助金(代表と分担に分ける), 共同研究・受託研究(代表のみ), 公募研究資金(代表のみ)に分類して記載

C 所属学協会およびその活動, 社会貢献実績(産学連携を含む), 受賞等

(3) 教育実績:

A 教育指導に係る実績: 学部教育と大学院教育(担当授業科目名を明示), ならびに学外非常勤講師等, その他(大学以外での実績も含む)に分類して記載

B 教育改善に係る実績: 教科書の執筆・翻訳, 教育改善に関する著書・論文, 教育関連の補助金取得・受賞等に分類して記載

C その他: 教育関係委員会等の実績と活動内容や特記すべき事項

(4) 最近5年間の主要論文5件の写し各1部

(5) 採用された場合の研究計画(2000字程度, 当該分野を世界的レベルで牽引するための計画を示して下さい.)

(6) 採用された場合の教育に対する抱負(2000字程度)

(7) 本人について参考意見を伺える方2名の氏名・所属・連絡先(電話, E-mailを含む)

提出期限: 平成24年11月9日(金) 必着

提出方法: 封筒表面に「量子理工学部門教員公募24-21」と朱記し, 書留で郵送してください。

応募書類は原則として返却致しません。

なお, 応募書類は教員選考の目的以外には使用致しません。

その他: 選考に際して面接を実施する場合があります。

その際, 交通費等は支給できませんので, ご了承下さい。

応募書類の送付先および問合せ先:

送付先: 〒060-8628 札幌市北区北13条西8丁目

北海道大学工学系事務部総務課(人事担当)

TEL: 011-706-6156

問合せ先: 〒060-8628 札幌市北区北13条西8丁目

北海道大学大学院工学研究院量子理工学部門

部門長 古坂道弘

TEL: 011-706-6677, FAX: 011-706-6677

E-mail: furusaka@eng.hokudai.ac.jp

北海道大学大学院工学研究院ホームページ:

<http://www.eng.hokudai.ac.jp/faculty/>

人事公募詳細/提出書類の書式のダウンロード:

<http://www.eng.hokudai.ac.jp/faculty/recruit/>

■高エネルギー加速器研究機構 加速器研究施設(加速器12-5)

職 種: 教授

本機構の教員の職名は, 教授, 准教授, 講師, 研究機関講師, 及び助教であるが, 機構の性格から, 大学における講座制とは異なる運営が行われる。また, 本機構の教員の定年は63歳である。

公募人数: 1名

勤務場所: つくばキャンパス

業務内容: 加速器研究施設に属し, リニアコライダーやエネルギー回収型リニアック(ERL)などのための超伝導空洞の開発研究において中心的役割を担う。また, 加速器研究施設が行う加速器の運転・維持に従事するとともに, 高エネルギー加速器研究機構が進める将来計画に必要な加速器技術の開拓的研究を行う。

着任時期: 平成25年4月1日以降, できるだけ早い時期

任 期: 任期なし

選考方法: 書類審査のうえ, 必要な場合に面接を行う。

面接予定日: 決まり次第機構 Web サイトに掲示します。

提出書類:

(1) 履歴書……通常の履歴事項の後に, 応募する公募番号(2件以上応募の場合はその順位), 電子メールアドレス及び, 可能な着任時期を明記すること。

(2) 研究歴

(3) 発表論文リスト……和文と英文は別葉とすること。

(4) 着任後の抱負

(5) 論文別刷……主要なもの, 5編以内

(6) 本人に関する推薦書または参考意見書(宛名は加速器研究施設長 生出 勝宣とすること)

※研究歴・抱負の記述においては, 必ずしも加速器を専門としない人事委員も含まれることから, 特殊な略号の未定義な使用は控えること。

上記の書類は, すべてA4判横書きとし, それぞれ別葉として各葉に氏名を記入すること。また, 2件以上応募の場合, 内容が同じ場合は, 提出書類を一部用意すること。内容が異なる場合は, 提出書類を

別々に用意すること(推薦書等も同様とする)。なお、公募締切日以前に辞退のあった場合以外の提出書類の返送は致しません。

応募の際は必ず加速器研究施設長 生出 勝宣に連絡し、研究内容等について問い合わせること。

締め切り：平成 24 年 11 月 19 日(月) 必着

※応募者は複数の公募に応募可能である。応募に際しては希望優先順位を明示する事。

書類送付先、問い合わせ先：

送付先：〒 305-0801 茨城県つくば市大穂 1-1

大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構

総務部人事労務課人事第一係

封筒の表に「教員公募関係」「公募番号」を朱書きし、郵送の場合は書留とすること。推薦書・参考意見書は電子メールでも受け付けいたします。

(jinji1@ml.post.kek.jp)

問い合わせ先：

(1) 研究内容等について

加速器研究施設長・生出 勝宣

e-mail:katsunobu.oide@kek.jp

(2) 提出書類について

総務部人事労務課人事第一係

TEL：029-864-5314 (ダイヤルイン)

TEL：029-864-5118 (ダイヤルイン)

e-mail：jinji1@ml.post.kek.jp

参考ウェブページ：<http://www.kek.jp/ja/Jobs/>

■高エネルギー加速器研究機構 加速器研究施設 (加速器 12-6)

職 種：教授

本機構の教員の職名は、教授、准教授、講師、研究機関講師、及び助教であるが、機構の性格から、大学における講座制とは異なる運営が行われる。また、本機構の教員の定年は 63 歳である。

公募人数：1 名

勤務場所：つくばキャンパス

業務内容：加速器研究施設に属し、PF/PF-AR リングの真空システムの高度化、エネルギー回収型リニアックなどの次世代光源の真空システムの開発研究において中心的役割を担う。また、加速器研究施設が行う加速器の運転・維持に従事するとともに、高エネルギー加速器研究機構が進める将来計画に必要な加速器技術の開拓的研究を行う。

着任時期：平成 25 年 4 月 1 日以降、できるだけ早い時期

任 期：任期なし

選考方法：書類審査のうえ、必要な場合に面接を行う。

面接予定日：決まり次第機構 Web サイトに掲示します。

提出書類：

(1) 履歴書……通常の履歴事項の後に、応募する公募番号(2 件以上応募の場合はその順位)、電子メールアドレス及び、可能な着任時期を明記すること。

(2) 研究歴

(3) 発表論文リスト……和文と英文は別葉とすること。

(4) 着任後の抱負

(5) 論文別刷……主要なもの、5 編以内

(6) 本人に関する推薦書または参考意見書(宛名は加速器研究施設長 生出 勝宣とすること)

※研究歴・抱負の記述においては、必ずしも加速器を専門としない人事委員も含まれることから、特殊な略号の未定義な使用は控えること。

上記の書類は、すべて A4 判横書きとし、それぞれ別葉として各葉に氏名を記入すること。また、2 件以上応募の場合、内容が同じ場合は、提出書類を一部用意すること。内容が異なる場合は、提出書類を別々に用意すること(推薦書等も同様とする)。なお、公募締切日以前に辞退のあった場合以外の提出書類の返送は致しません。

応募の際は必ず加速器研究施設長 生出 勝宣に連絡し、研究内容等について問い合わせること。

締め切り：平成 24 年 11 月 19 日(月) 必着

※応募者は複数の公募に応募可能である。応募に際しては希望優先順位を明示する事。

書類送付先、問い合わせ先：

送付先：〒 305-0801 茨城県つくば市大穂 1-1

大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構

総務部人事労務課人事第一係

封筒の表に「教員公募関係」「公募番号」を朱書きし、郵送の場合は書留とすること。推薦書・参考意見書は電子メールでも受け付けいたします。

(jinji1@ml.post.kek.jp)

問い合わせ先：

(1) 研究内容等について

加速器研究施設長・生出 勝宣

e-mail:katsunobu.oide@kek.jp

(2) 提出書類について

総務部人事労務課人事第一係

TEL：029-864-5314 (ダイヤルイン)

TEL：029-864-5118 (ダイヤルイン)

e-mail：jinji1@ml.post.kek.jp

参考ウェブページ：<http://www.kek.jp/ja/Jobs/>

■高エネルギー加速器研究機構 加速器研究施設 (加速器 12-7)

職 種：准教授

本機構の教員の職名は、教授、准教授、講師、研究機関講師、及び助教であるが、機構の性格から、大学における講座制とは異なる運営が行われる。また、本機構の教員の定年は63歳である。

公募人数：1名

勤務場所：つくばキャンパス

業務内容：加速器研究施設に属し、SuperKEKBリングのビーム光学系およびビーム性能の開発において中核的役割を担う。また、加速器研究施設が行う加速器の運転・維持に従事するとともに、高エネルギー加速器研究機構が進める将来計画に必要な加速器技術の開拓的研究を行う。

着任時期：平成25年4月1日以降、できるだけ早い時期
任 期：任期なし

選考方法：書類審査のうえ、必要な場合に面接を行う。

面接予定日：決まり次第機構 Web サイトに掲示します。

提出書類：

- (1) 履歴書……通常の履歴事項の後に、応募する公募番号（2件以上応募の場合はその順位）、電子メールアドレス及び、可能な着任時期を明記すること。
- (2) 研究歴
- (3) 発表論文リスト……和文と英文は別葉とすること。
- (4) 着任後の抱負
- (5) 論文別刷……主要なもの、5編以内
- (6) 本人に関する推薦書または参考意見書（宛名は加速器研究施設長 生出 勝宣とすること）

※研究歴・抱負の記述においては、必ずしも加速器を専門としない人事委員も含まれることから、特殊な略号の未定義な使用は控えること。

上記の書類は、すべてA4判横書きとし、それぞれ別葉として各葉に氏名を記入すること。また、2件以上応募の場合、内容が同じ場合は、提出書類を一部用意すること。内容が異なる場合は、提出書類を別々に用意すること（推薦書等も同様とする）。なお、公募締切日以前に辞退のあった場合以外の提出書類の返送は致しません。

応募の際は必ず加速器研究施設長 生出 勝宣に連絡し、研究内容等について問い合わせること。

締め切り：平成24年11月19日（月）必着

※応募者は複数の公募に応募可能である。応募に際しては希望優先順位を明示する事。

書類送付先、問い合わせ先：

送付先：〒305-0801 茨城県つくば市大穂1-1
大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構
総務部人事労務課人事第一係

封筒の表に「教員公募関係」「公募番号」を朱書きし、郵送の場合は書留とすること。推薦書・参考意見書は電子メールでも受け付けいたします。

(jinji1@ml.post.kek.jp)

問い合わせ先：

(1) 研究内容等について

加速器研究施設長・生出 勝宣

e-mail:katsunobu.oide@kek.jp

(2) 提出書類について

総務部人事労務課人事第一係

TEL：029-864-5314（ダイヤルイン）

TEL：029-864-5118（ダイヤルイン）

e-mail：jinji1@ml.post.kek.jp

参考ウェブページ：<http://www.kek.jp/ja/Jobs/>

■高エネルギー加速器研究機構 加速器研究施設 (加速器 12-8)

職 種：准教授

本機構の教員の職名は、教授、准教授、講師、研究機関講師、及び助教であるが、機構の性格から、大学における講座制とは異なる運営が行われる。また、本機構の教員の定年は63歳である。

公募人数：1名

勤務場所：つくばキャンパス

業務内容：加速器研究施設に属し、以下のいずれかのテーマにおいて中核的役割を担う。

放射光（PF/PF-AR）リングにおける電磁石システムの高度化

・エネルギー回収型リニアックなどの次世代放射光源における電磁石システムの開発研究

・関連するビームダイナミックスの研究、また加速器研究施設が行う加速器の運転・維持に従事するとともに、高エネルギー加速器研究機構が進める将来計画に必要な加速器技術の開拓的研究を行う。

着任時期：平成25年4月1日以降、できるだけ早い時期

任 期：任期なし

選考方法：書類審査のうえ、必要な場合に面接を行う。

面接予定日：決まり次第機構 Web サイトに掲示します。

提出書類：

- (1) 履歴書……通常の履歴事項の後に、応募する公募番号（2件以上応募の場合はその順位）、電子メールアドレス及び、可能な着任時期を明記すること。

- (2) 研究歴
- (3) 発表論文リスト……和文と英文は別葉とすること.
- (4) 着任後の抱負
- (5) 論文別刷……主要なもの, 5編以内
- (6) 本人に関する推薦書または参考意見書(宛名は加速器研究施設長 生出 勝宣とすること)

※研究歴・抱負の記述においては, 必ずしも加速器を専門としない人事委員も含まれることから, 特殊な略号の未定義な使用は控えること.

上記の書類は, すべて A4 判横書きとし, それぞれ別葉として各葉に氏名を記入すること. また, 2 件以上応募の場合, 内容が同じ場合は, 提出書類を一部用意すること. 内容が異なる場合は, 提出書類を別々に用意すること(推薦書等も同様とする). なお, 公募締切日以前に辞退のあった場合以外の提出書類の返送は致しません.

応募の際は必ず加速器研究施設長 生出 勝宣に連絡し, 研究内容等について問い合わせること.

締め切り:平成 24 年 11 月 19 日(月) 必着

※応募者は複数の公募に応募可能である. 応募に際しては希望優先順位を明示する事.

書類送付先, 問い合わせ先:

送付先: 〒 305-0801 茨城県つくば市大穂 1-1
大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構
総務部人事労務課人事第一係
封筒の表に「教員公募関係」「公募番号」を朱書きし,
郵送の場合は書留とすること. 推薦書・参考意見書
は電子メールでも受け付けいたします.

(jinjil@ml.post.kek.jp)

問い合わせ先:

(1) 研究内容等について

加速器研究施設長・生出 勝宣

e-mail:katsunobu.oide@kek.jp

(2) 提出書類について

総務部人事労務課人事第一係

TEL: 029-864-5314 (ダイヤルイン)

TEL: 029-864-5118 (ダイヤルイン)

e-mail: jinjil@ml.post.kek.jp

参考ウェブページ: <http://www.kek.jp/ja/Jobs/>

■高エネルギー加速器研究機構 加速器研究施設 (加速器 12-9)

職 種:助教

本機構の教員の職名は, 教授, 准教授, 講師, 研究機関講師, 及び助教であるが, 機構の性格から, 大

学における講座制とは異なる運営が行われる. また, 本機構の教員の定年は 63 歳である.

公募人数:若干名

勤務場所:つくばキャンパス, 若しくは東海キャンパス

業務内容:加速器研究施設では, J-PARC 陽子加速器, SuperKEKB コライダー, フォトンファクトリー加速器 (PF と PF-AR), 及び電子陽電子入射リニアックの設計・建設・運転・性能向上に関連する加速器の研究を行うとともに, 次世代光源, リニアコライダーなどの将来計画に向けた加速器技術開発, 加速器理論等の加速器に関する広範な研究を進めている. 採用後は, 加速器研究施設が進めているいずれかのプロジェクトに属して, 加速器の運転, 維持, 開発研究を行う.

着任時期:平成 25 年 4 月 1 日以降, できるだけ早い時期
任 期:任期なし

選考方法:原則として面接選考とする.

面接予定日:決まり次第機構 Web サイトに掲示します.

提出書類:

(1) 履歴書……通常の履歴事項の後に, 応募する公募番号 (2 件以上応募の場合はその順位), 電子メールアドレス及び, 可能な着任時期を明記すること.

(2) 研究歴

(3) 発表論文リスト……和文と英文は別葉とすること.

(4) 着任後の抱負

(5) 論文別刷……主要なもの, 5編以内

(6) 本人に関する推薦書または参考意見書(宛名は加速器研究施設長 生出 勝宣とすること)

※研究歴・抱負の記述においては, 必ずしも加速器を専門としない人事委員も含まれることから, 特殊な略号の未定義な使用は控えること.

上記の書類は, すべて A4 判横書きとし, それぞれ別葉として各葉に氏名を記入すること. また, 2 件以上応募の場合, 内容が同じ場合は, 提出書類を一部用意すること. 内容が異なる場合は, 提出書類を別々に用意すること(推薦書等も同様とする). なお, 公募締切日以前に辞退のあった場合以外の提出書類の返送は致しません.

応募の際は必ず加速器研究施設長 生出 勝宣に連絡し, 研究内容等について問い合わせること.

締め切り:平成 24 年 12 月 25 日(火) 必着

※応募者は複数の公募に応募可能である. 応募に際しては希望優先順位を明示する事.

書類送付先, 問い合わせ先:

送付先: 〒 305-0801 茨城県つくば市大穂 1-1

大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構

総務部人事労務課人事第一係
封筒の表に「教員公募関係」「公募番号」を朱書きし、
郵送の場合は書留とすること。推薦書・参考意見書
は電子メールでも受け付けいたします。

(jinji1@ml.post.kek.jp)

問い合わせ先：

(1) 研究内容等について

加速器研究施設長・生出 勝宣

e-mail:katsunobu.oide@kek.jp

(2) 提出書類について

総務部人事労務課人事第一係

TEL：029-864-5314 (ダイヤルイン)

TEL：029-864-5118 (ダイヤルイン)

e-mail：jinji1@ml.post.kek.jp

参考ウェブページ：<http://www.kek.jp/ja/Jobs/>

■高エネルギー加速器研究機構 加速器研究施設 (加 速器 12-10)

職 種：博士研究員 若干名(任期は単年度契約で2年)
博士研究員とは「専攻分野について高度な研究能力
を持つ若手研究者で、一定期間にわたり共同研究プ
ロジェクト推進のために雇用される」者である。

公募人数：若干名

勤務場所：つくばキャンパス、若しくは東海キャンパス

業務内容：加速器研究施設では、J-PARC 陽子加速器、
SuperKEKB コライダー、フォトンファクトリー加
速器 (PF と PF-AR)、及び電子陽電子入射リニアッ
ク的设计・建設・運転・性能向上に関連する加速器
の研究を行うとともに、次世代光源、リニアコライ
ダーなどの将来計画に向けた加速器技術開発、加速
器理論等の加速器に関する広範な研究を進めている。
採用後は、加速器研究施設が進めているいずれかの
プロジェクトに属して、加速器の開発研究を行う意
欲的な若手研究者を求めている。

着任時期：平成 25 年 4 月 1 日以降、できるだけ早い時期

任 期：単年度契約で 2 年

資 格：応募締切時点で博士の学位を有する者、ま
たは着任までに学位取得が確実な者。これまでの研
究分野は問わない。

選考方法：原則として面接選考とする。

面接予定日：決まり次第機構 Web サイトに掲示します。

提出書類：

(1) 履歴書……通常の履歴事項の後に、応募する公

募番号 (2 件以上応募の場合はその順位)、電子メー
ルアドレス及び、可能な着任時期を明記すること。

(2) 研究歴

(3) 発表論文リスト……和文と英文は別葉とすること。

(4) 着任後の抱負

(5) 論文別刷……主要なもの、5 編以内

(6) 本人に関する推薦書または参考意見書 (宛名は
加速器研究施設長 生出 勝宣とすること)

※研究歴・抱負の記述においては、必ずしも加速器
を専門としない人事委員も含まれることから、特殊
な略号の未定義な使用は控えること。

上記の書類は、すべて A4 判横書きとし、それぞれ
別葉として各葉に氏名を記入すること。また、2 件
以上応募の場合、内容が同じ場合は、提出書類を一
部用意すること。内容が異なる場合は、提出書類を
別々に用意すること(推薦書等も同様とする)。なお、
公募締切日以前に辞退のあった場合以外の提出書類
の返送は致しません。

応募の際は必ず加速器研究施設長 生出 勝宣に連
絡し、研究内容等について問い合わせること。

給与：基準年俸額 3,960,000 円 (事業年度の途中で採
用された場合は、採用時期に見合った額) およ
び、通勤手当

締め切り：平成 24 年 12 月 25 日 (火) 必着

※応募者は複数の公募に応募可能である。応募に際
しては希望優先順位を明示する事。

書類送付先、問い合わせ先：

送付先：〒 305-0801 茨城県つくば市大穂 1-1

大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構

総務部人事労務課人事第一係

封筒の表に「教員公募関係」「公募番号」を朱書きし、
郵送の場合は書留とすること。推薦書・参考意見書
は電子メールでも受け付けいたします。

(jinji1@ml.post.kek.jp)

問い合わせ先：

(1) 研究内容等について

加速器研究施設長・生出 勝宣

e-mail:katsunobu.oide@kek.jp

(2) 提出書類について

総務部人事労務課人事第一係

TEL：029-864-5314 (ダイヤルイン)

TEL：029-864-5118 (ダイヤルイン)

e-mail：jinji1@ml.post.kek.jp

参考ウェブページ：<http://www.kek.jp/ja/Jobs/>